

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
川越市	川越市	平成 2 3 ~ 2 7 年度	平成 2 3 ~ 2 7 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 2 1 年度)	目 標 (平成 2 8 年度) A	実 績 (平成 2 8 年度) B	実績B /目標A
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口	280, 393	292, 918	99. 9 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	82. 3 %	88. 8 %	83. 2 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1, 108	2, 024	57. 4 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0. 3 %	1. 1 %	0. 6 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載

## 2 目標が達成できなかった理由

公共下水道について、下水道整備は着実に進行し汚水処理人口は増加したが、計画当初に見込んだ接続人口が若干見込を下回ったため。また、集落排水施設等については、該当地域の一部で計画当初に見込んだ人口増加が見込みを下回ったため。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成32年度まで

公共下水道については、整備区域内の未接続世帯への接続依頼等により、汚水衛生処理率の向上を目指す。  
集落排水施設地域内については、現在稼働地区の未接続世帯への接続依頼等により接続率の向上を目指す。

(都道府県知事の所見)

川越市は、依然として2万人以上の未処理人口を抱えているため、引き続き、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進する必要がある。また、公共下水道や集落排水設備等においては、上記の方策をとることにより、汚水衛生処理人口の増加が図られることが期待できる。

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、一層の努力をお願いしたい。